

トピック(テーマ)	下村亀三郎		
ねらい	千曲川の支流依田川沿いの丸子村に製糸業を起こし、大正元年、村を町にして初代丸子町町長となった下村亀三郎。彼の地元への愛、製糸業と教育に尽力する姿、政治への関心、横浜や海外とのつながりを調べる。		
キーワード	慶應義塾、福沢諭吉、柴崎虎五郎、小山久左衛門、小野光景、工藤善助、工藤助三郎、小山貞夫、下村恵一、蚕種業、製糸業、依田社、グランド綾、丸子村長、丸子町長、小県製糸組合長、小県郡郡会議員、県会議員、上田蚕糸専門学校、丸子小学校、依田窪教育会、丸子農商学校、上田蚕糸専門学校、信濃絹糸紡績、大屋駅、信越線、丸子鉄道、屑物晒練所、模範工女養成所、依田社病院、依水館、東京日本橋上総旅館、和田峠(嶺)、諏訪、岡谷、武石、セントルイス万国博覧会、清国		
概要を知るためのツール	1	書名	信濃蚕糸業史 上巻 人物編
		著者名	江口善次、日高八十七／著
		出版社	大日本蚕糸会信濃支部
		出版年	1937
		内容紹介	長野県全域の蚕糸業を知るための基本資料。上・中・下巻があり、上巻後半の「人物編」に下村亀三郎の概要が示されている。下巻「製糸編」のいくつかの章には依田社の状況が載せられている。
資料リスト	1	書名	暁雲 一下村亀三郎伝一
		著者名	山岸勝／編
		出版社	下村亀三郎伝記刊行会
		出版年	1980
		内容紹介	下村亀三郎の伝記であるが20人余が彼の思い出や業績について書いている。アメリカ向けの宣伝映画「依田社—製糸場の実況—」の80余コマが写真に起こされて載っている。製糸のことだけでなく明治後期から大正にかけての依田窪地域の社会状況がわかる。
	2	書名	ふるさと上田人物伝
		著者名	阿部勇 小平千文 児玉卓文 滝澤正幸／編著
		出版社	上田市教育委員会
		出版年	2017
	3	書名	蚕糸王国信州ものがたり
		著者名	阿部勇／編著
		出版社	信濃毎日新聞社
		出版年	2016
	4	書名	蚕都上田ものがたり
		著者名	新津新生 小野和英 阿部勇ほか／編著
		出版社	上田小県近現代史研究会
内容紹介		幕末維新期の上田の生糸輸出から始まり、製糸業が諏訪地域を中核にして発展し、日本の基幹産業となったこと。上田小県地域では明治初年から器械製糸が広がるが定着にくい地であったが「依田社」が定着させたこと。信州の養蚕・製糸の現状がわかり、これからの方向を示している。	

		出版年	2008
		内容紹介	上田小県地域に焦点を当て、蚕種業を中心に据え蚕糸業について語っている。
	5	書名	小県郡史 餘編
		著者名	小山眞夫
		出版社	小県郡郡役所
		出版年	1923
		内容紹介	産業の章で製糸関連では一人下村亀三郎が取り上げられ、生涯と依田社及びそのほかの実績が記されている。
雑誌	1	論題名	長野県における地域産業企業の成立: 依田社の事例
		著者名	野原建一／著
		雑誌名	長野大学紀要□
		出版年	1989.2.1
		巻号頁数	10(3),1-14
	2	論題名	長野県丸子町(現上田市)の盛衰
		著者名	小林隆一／著
		雑誌名	地域総合研究(鹿児島国際大学リポジトリ)
		出版年	2010
		巻号頁数	37(2),93-103
インターネット	1	サイト名	上田を支えた人々 下村亀三郎
		URL	https://museum.umic.jp/iinbutu/data/035.html
		概要	信州丸子の製糸業起業家として生涯を紹介
	2	サイト名	上田市立丸子郷土博物館 丸子地区の養蚕業
		URL	https://museum.umic.jp/maruko/kindai-seishi/story1.html
		概要	丸子地区の養蚕業の歴史
新聞	1	見出し	蚕都繁栄の裏側一冊に 功績紹介
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊25ページ
		年月日	2010.12.7
	2	見出し	製糸業の繁栄しので 区史発行
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊20ページ
		年月日	2007.3.31
	3	見出し	ふるさと上田の50人一冊に 市教委
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊28ページ
		年月日	2017.10.18